

在校生のみなさんへ

2023年度『学修時間・教育の成果等に関する調査』の結果について

「東京経済大学 IR 推進委員会」は、教員と学生関係部署の職員から構成され、大学内のさまざまな情報を収集・分析し、その結果を教育・研究、学生支援等に活用する IR(インスティテューショナル・リサーチ)活動を行っています。

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年度～2021年度は遠隔授業を中心に行ってききましたが、2022年度より対面授業が基本となりました。先生方は、より教育効果を高めるための工夫・努力を続けていますが、みなさんの学修の状況や成果を知り、その参考とするために、本調査を今年も実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたので、過去の結果とも比較し、その概要をご報告いたします。

学生のみなさんには学期末の繁忙期にもかかわらず、回答にご協力をいただき、大変感謝しております。

本学の「全学のディプロマ・ポリシー(全学 DP)」に定められた学修目標の到達度について、各自が自己評価の参考にしてください。自由記述項目で寄せられたみなさんの声もあわせて、今後の教学改革や学生支援に活かしていきます。ありがとうございました。

1、調査の実施概要

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度	2022年度	2023年度
調査期間	2016.7.11～ 2016.8.6	2017.7.18～ 2017.8.13	2018.7.2～ 2018.7.31	2019.7.1～ 2019.7.31	2021.07.16～ 2021.08.16	2022.07.19～ 2022.08.16	2023.07.18～ 2023.08.16
全体回答者数 (回答率)	1,263名 (19.2%)	871名 (12.9%)	890名 (13.3%)	701名 (10.5%)	1,109 名 (16.9%)	561 名 (8.6%)	418名 (6.2%)
1 年生回答率	31.9%	20.9%	27.9%	23.2%	26.9%	16.2%	12.8%
2 年生回答率	23.4%	14.5%	10.4%	10.3%	23.3%	9.1%	5.6%
3 年生回答率	14.3%	12.2%	10.4%	7.5%	12.1%	7.0%	3.7%
4 年生回答率	9.8%	5.9%	5.4%	3.0%	7.4%	2.6%	2.7%
留年生回答率	3.5%	1.6%	2.6%	1.3%	2.3%	0.5%	0.6%
E 学部回答率	18.1%	11.9%	10.7%	8.9%	16.3%	9.0%	5.7%
B 学部回答率	23.4%	15.4%	17.6%	12.8%	18.6%	9.1%	6.1%
C 学部回答率	16.6%	13.2%	11.7%	9.1%	12.6%	6.6%	5.5%
L 学部回答率	15.0%	9.6%	10.7%	9.6%	18.6%	8.5%	8.2%

*回答率の分母は、それぞれのグループの5月1日現在の在籍者数

*2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により学習環境の変化が大きく不安定となったため調査実施を見送った

質問項目	①最近1週間における平均的な時間の使い方(学修時間の把握) ●出席授業科目数、●授業時間以外の授業に関する予習・復習・課題学習時間、 ●授業とは直接関係のない個人的興味による自主的学習時間、●資格取得受験勉強時間、●アルバイト時間、 ●サークル活動時間、●社会活動(ボランティア等)時間、●インターンシップ・就職活動時間 ②実際に受講し、その結果、実力がついたと思う科目群 ③学習成果・到達度自己評価(全学のディプロマ・ポリシーの修得度)
回答の傾向	アンケート開始から経年変化を見るため毎年同様の調査内容であったことで年々回答率が低下していました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大によりアンケート実施を見送りました。コロナ禍のもとでの新しい学生生活スタイルが定着してきた2021年度は、遠隔授業をテーマにリニューアルして再開実施したところ、全体の関心も高まり、回答数が大幅に増えてきましたが、2022年度の回答率は大幅に下がりました。今年度は設問数を53問から18問へ大幅に圧縮することで多く学生さんからの回答を期待したのですが、残念ながら回答率はさらに下がり、過去最低を更新してしまいました。調査結果への信頼性という問題が残し、次回以降への課題であると考えています。

2、調査結果について

1)最近1週間の平均的な時間の使い方

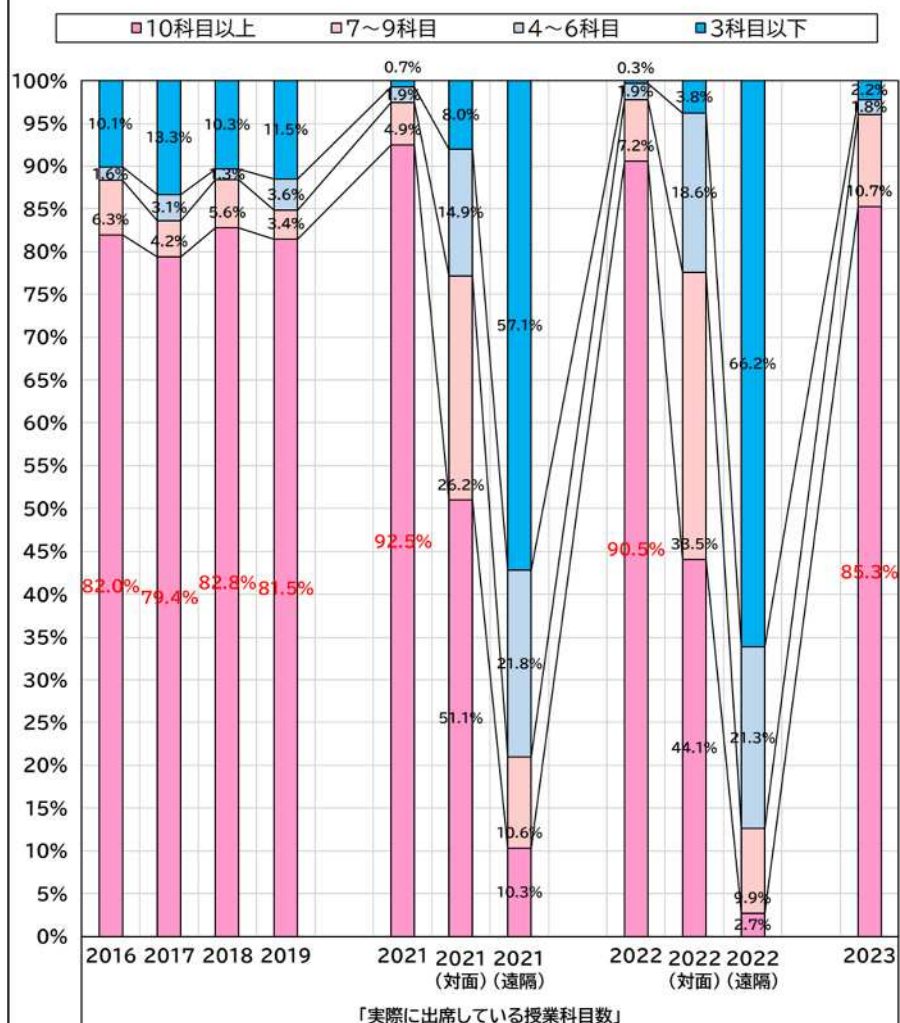
2022年度から対面授業が原則となり、遠隔授業は一部の科目に限り実施しています。2021年度は原則、遠隔授業で実施していました。授業実施形態が戻りつつある現在において、全体の傾向をコロナ禍前(2019年度)と比較してみたいと思います。 ①コロナ禍前(2019年度)までは、ほぼ履修登録どおりに出席している学生は「70%から80%程度」で、約10%程度の学生は1年生から「3科目以下出席」と厳しい状況にありました。一部の科目で遠隔授業を実施している2023年度は、1・2年生はコロナ禍前(2019年度)と比べると「3科目以下出席」は大幅に減少し、「7～9科目出席」の割合が増えています。3年生は「10科目以上出席」が約20ポイント減少し「4

- ～6科目出席」がコロナ禍前(2019年度)比で約3倍に増加しました。コロナ禍における単位修得率の高さが影響しているかもしれません。
- ②「授業受講時間以外の授業に関する学習時間」は全体の約25%が「10時間以上」学習していると回答しました。これはコロナ禍における遠隔授業導入による授業方法の変化が影響しているものと思われます。さらに「授業と関係のない個人的興味による自主的な学習時間」は上級生になるほど増えています。
- ③「資格取得のための学習時間」はあまり変わらず、「アルバイト時間」は学年により増減があったものの、「サークル活動時間」はコロナ禍前(2019年度)の水準には戻っていない状況でした。

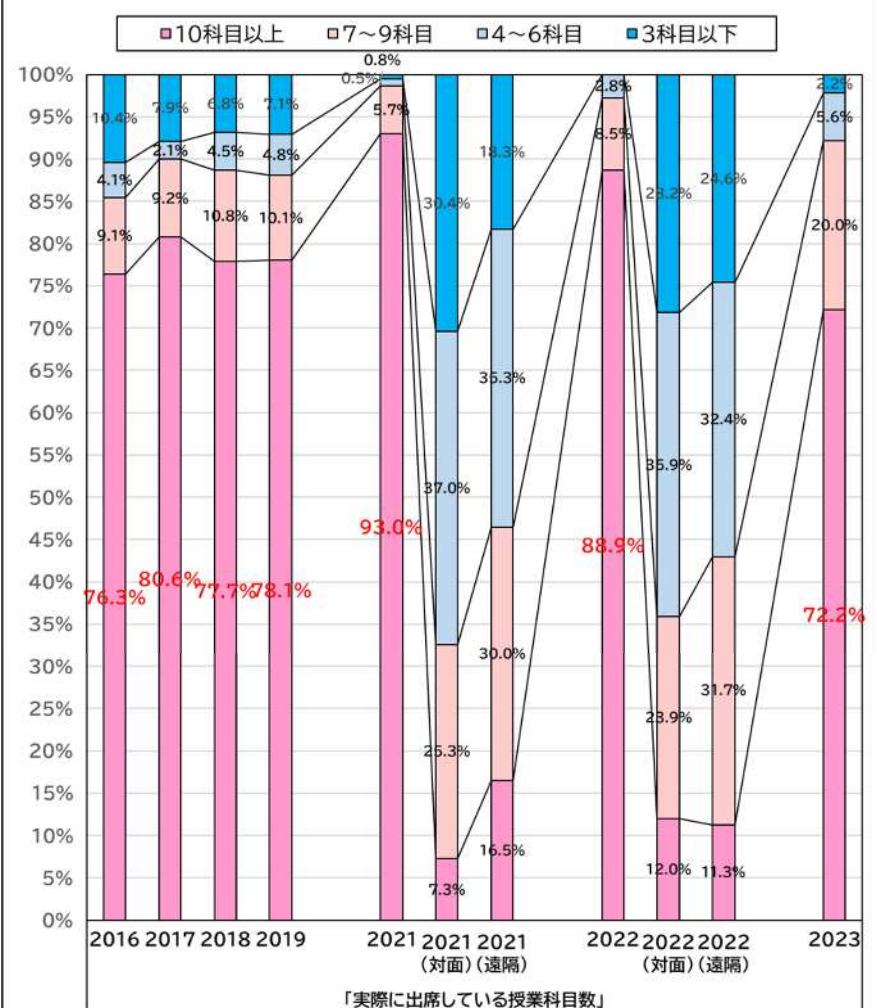
(1)最近1週間の出席授業科目数

*最近の1週間:2023.7.10～2023.7.16

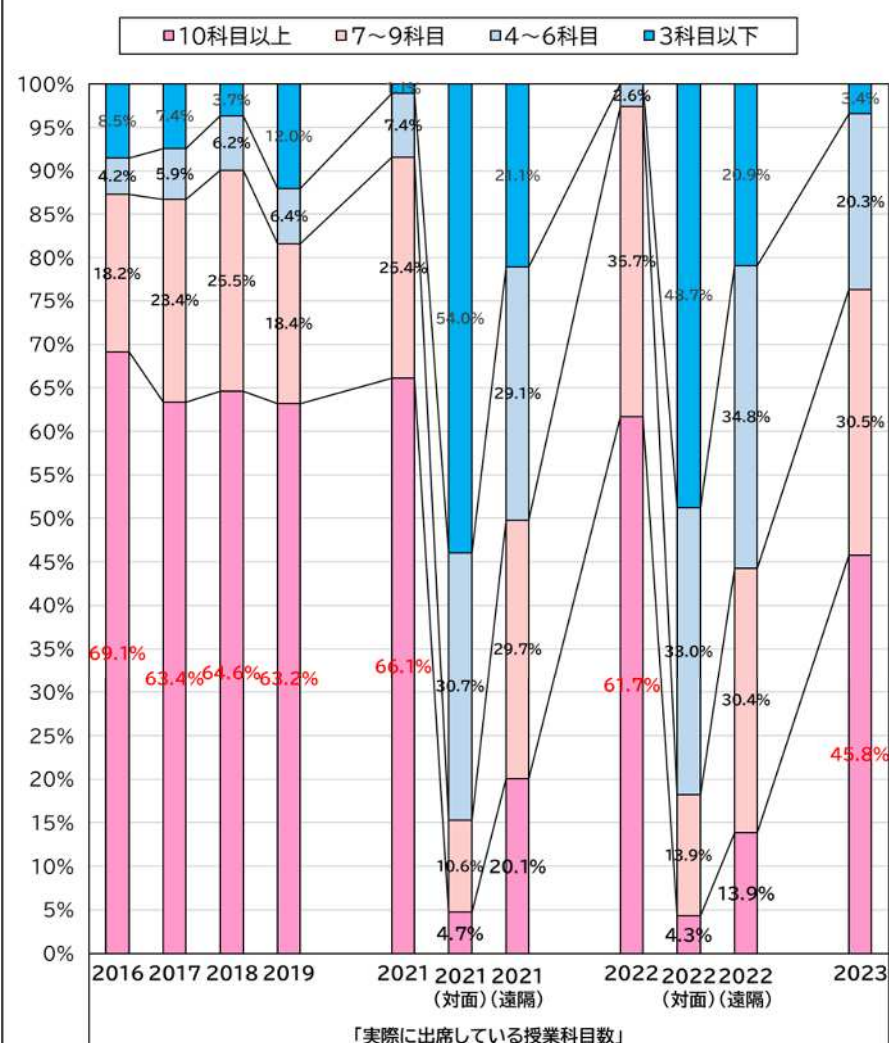
最近1週間における「出席授業科目数」
(1年生)



最近1週間における「出席授業科目数」
(2年生)

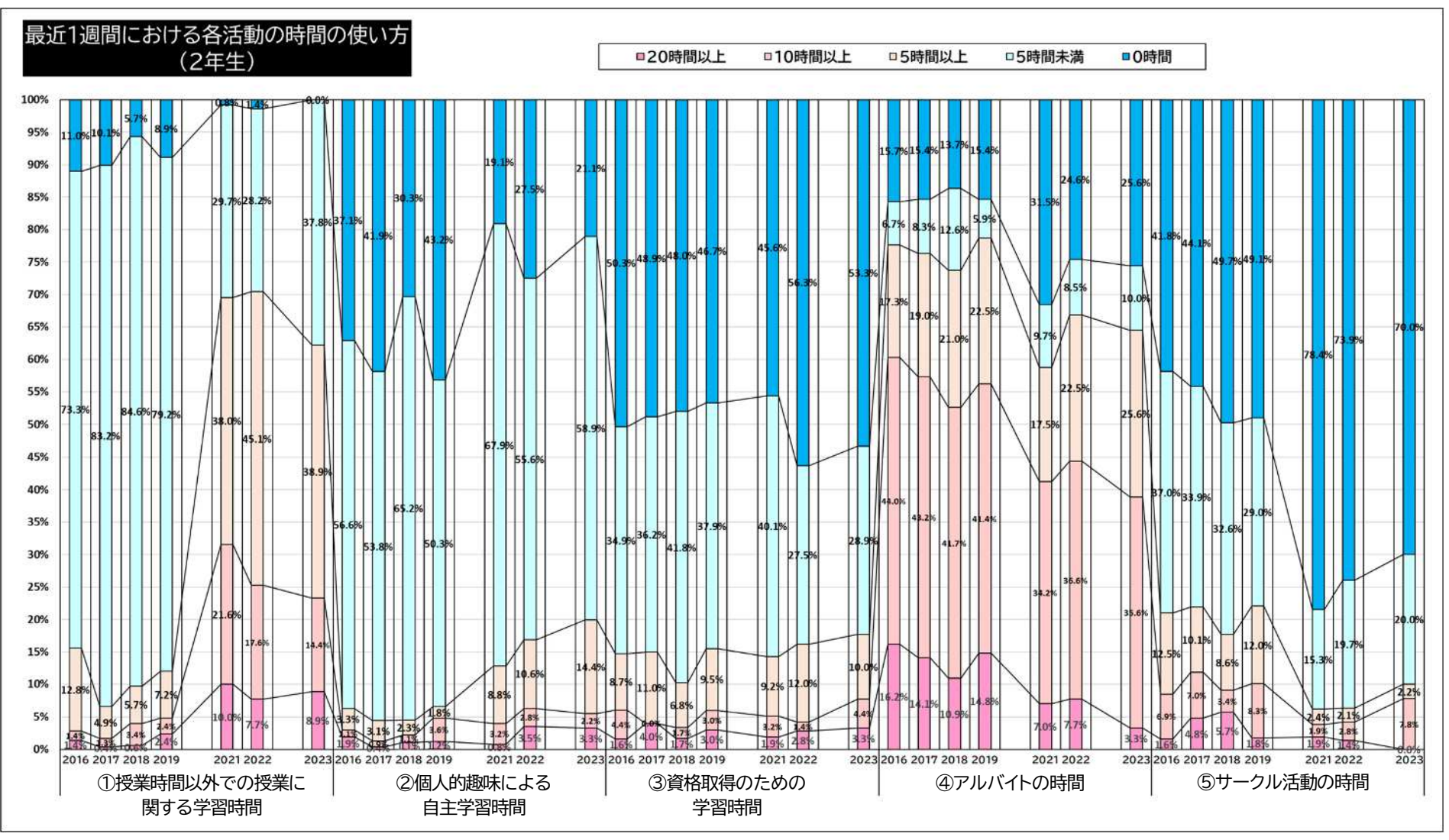
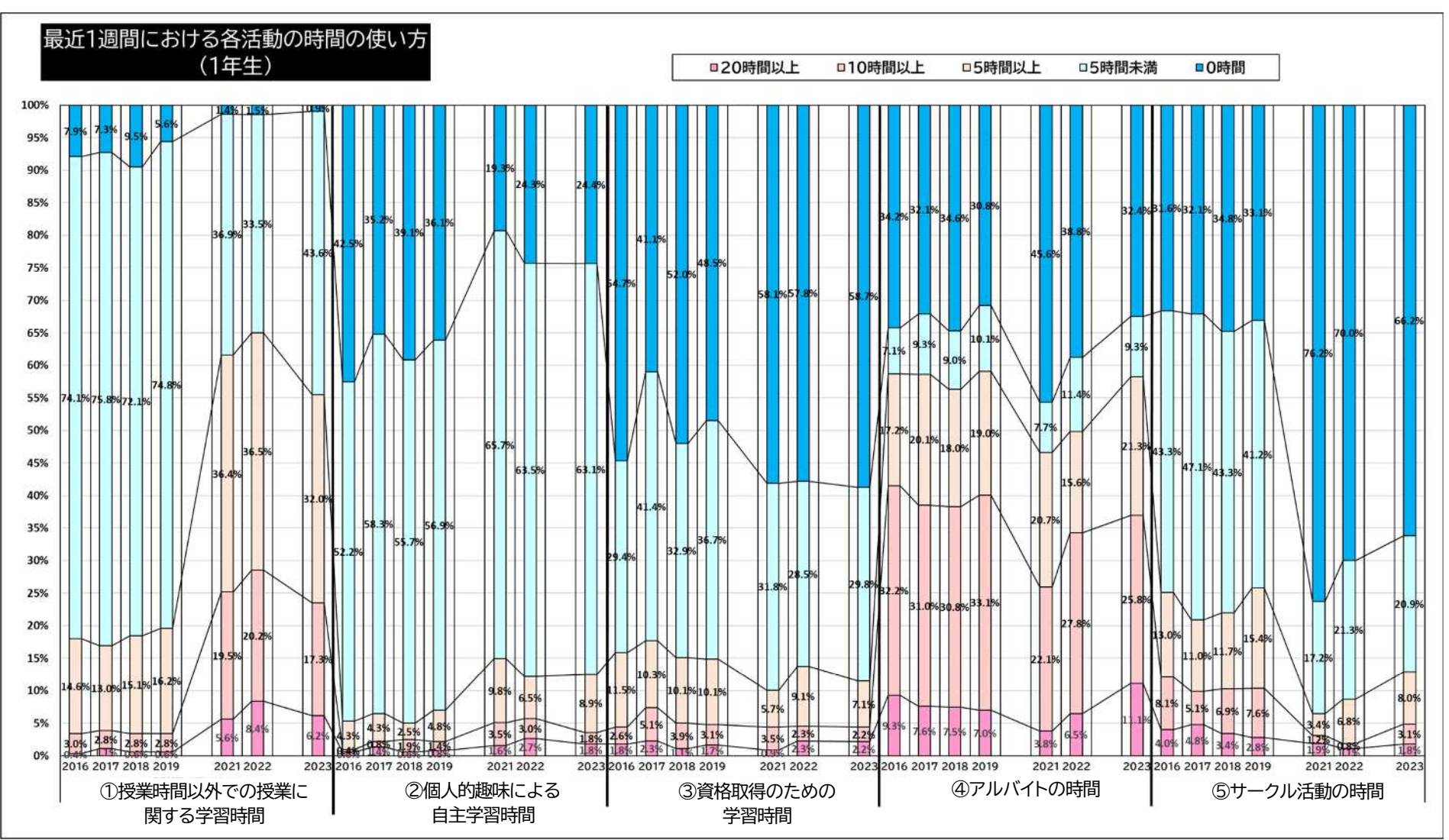


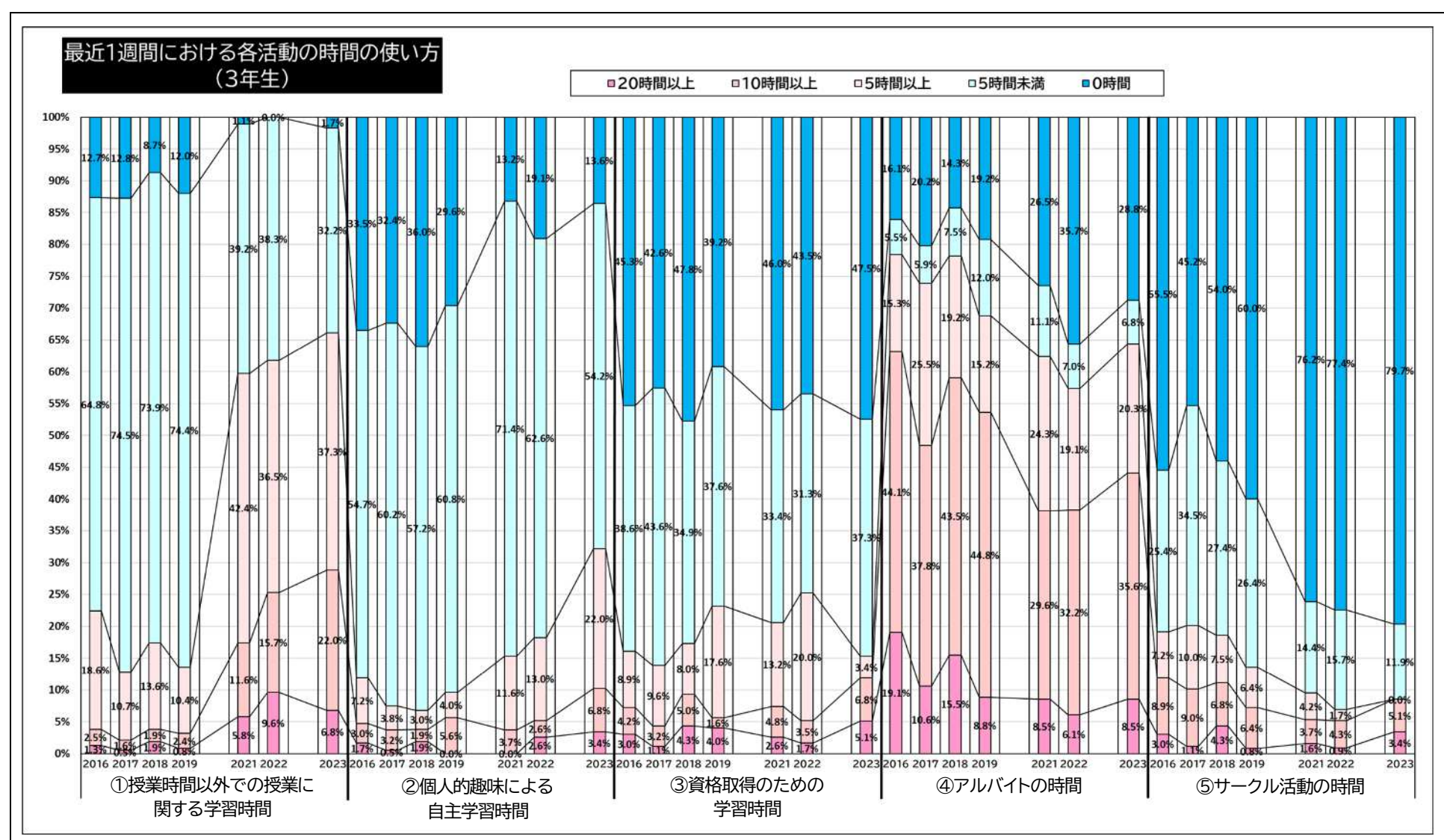
最近1週間における「出席授業科目数」
(3年生)



(2)最近1週間の各活動時間

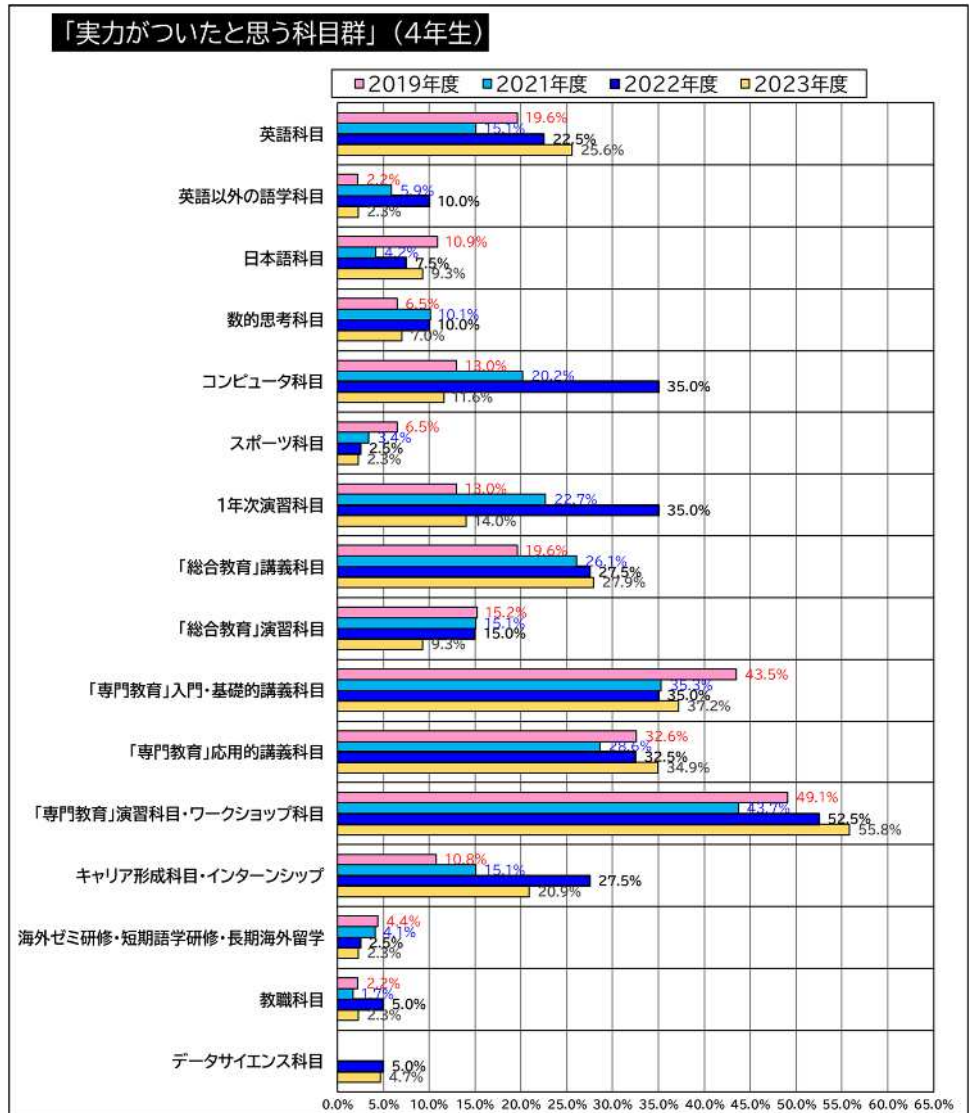
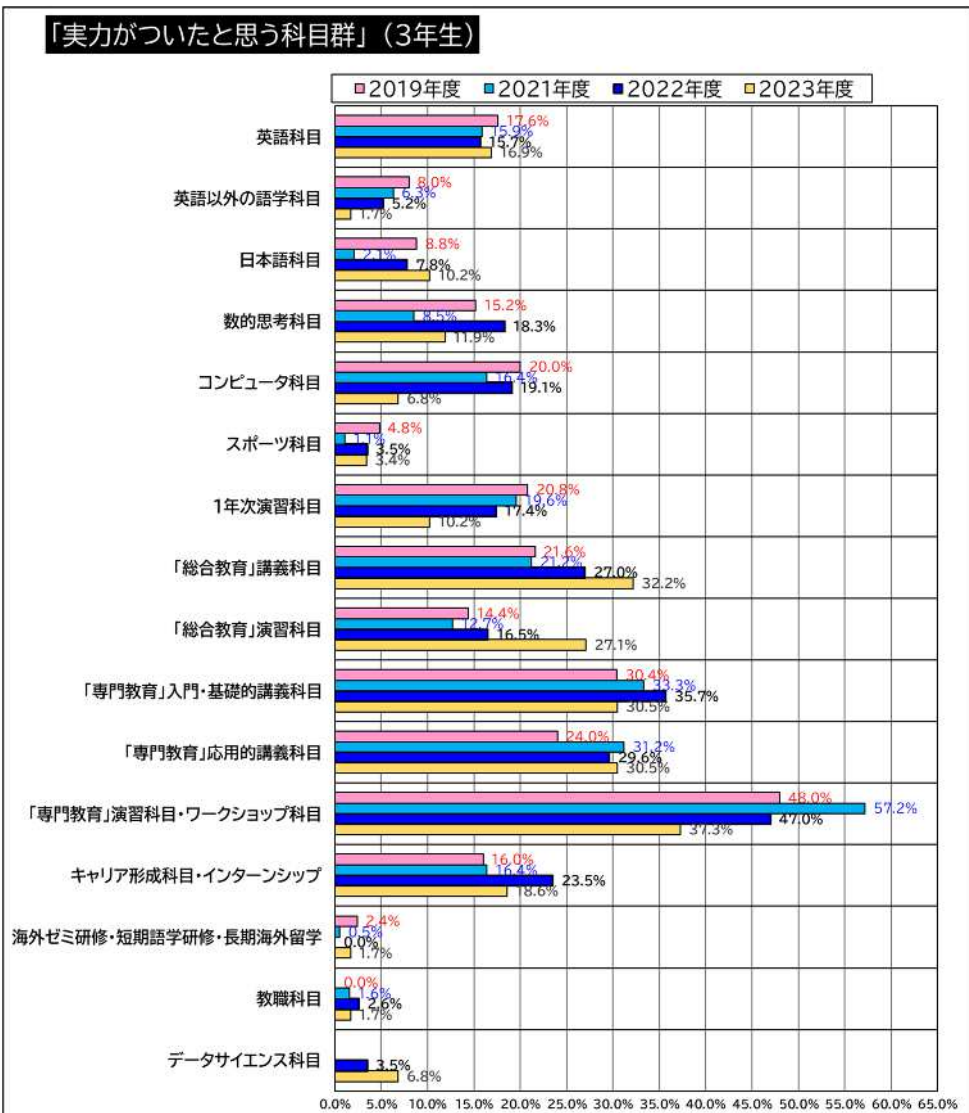
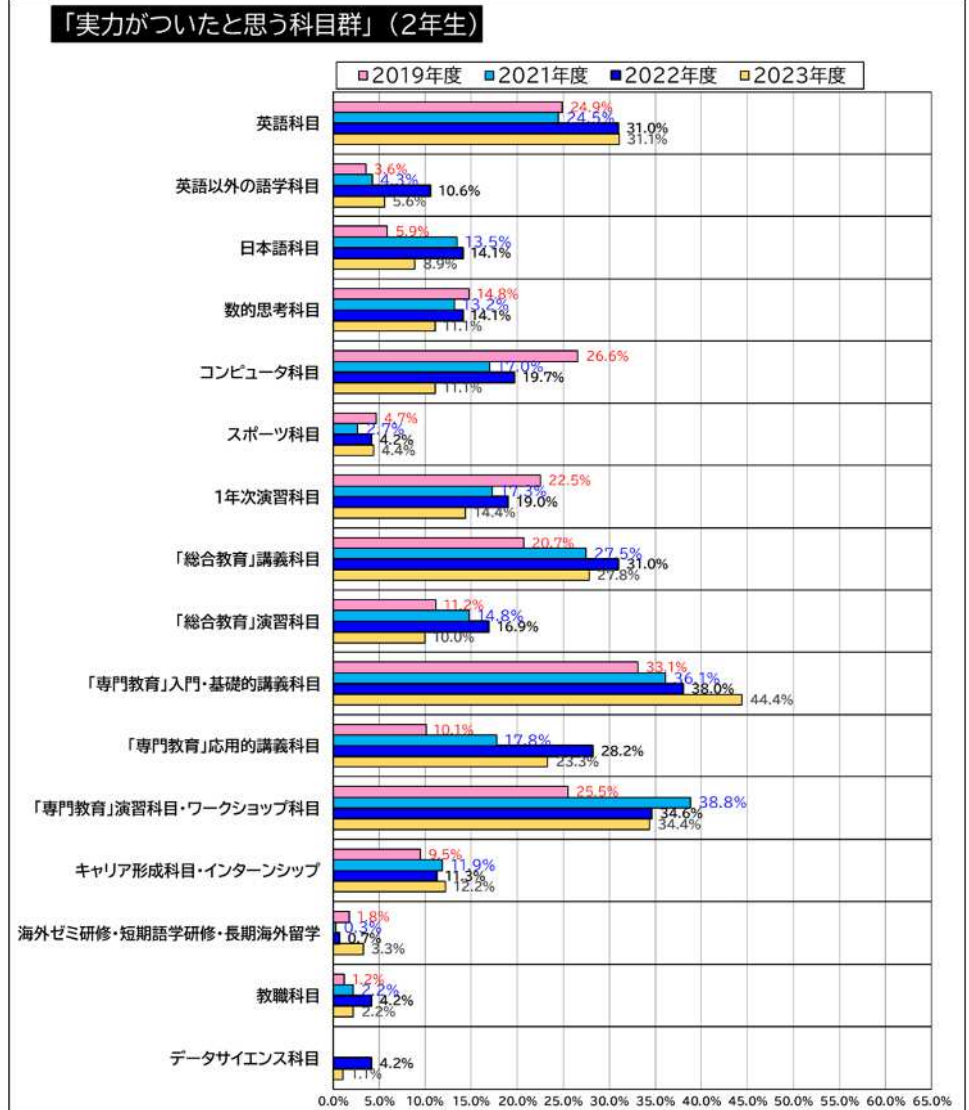
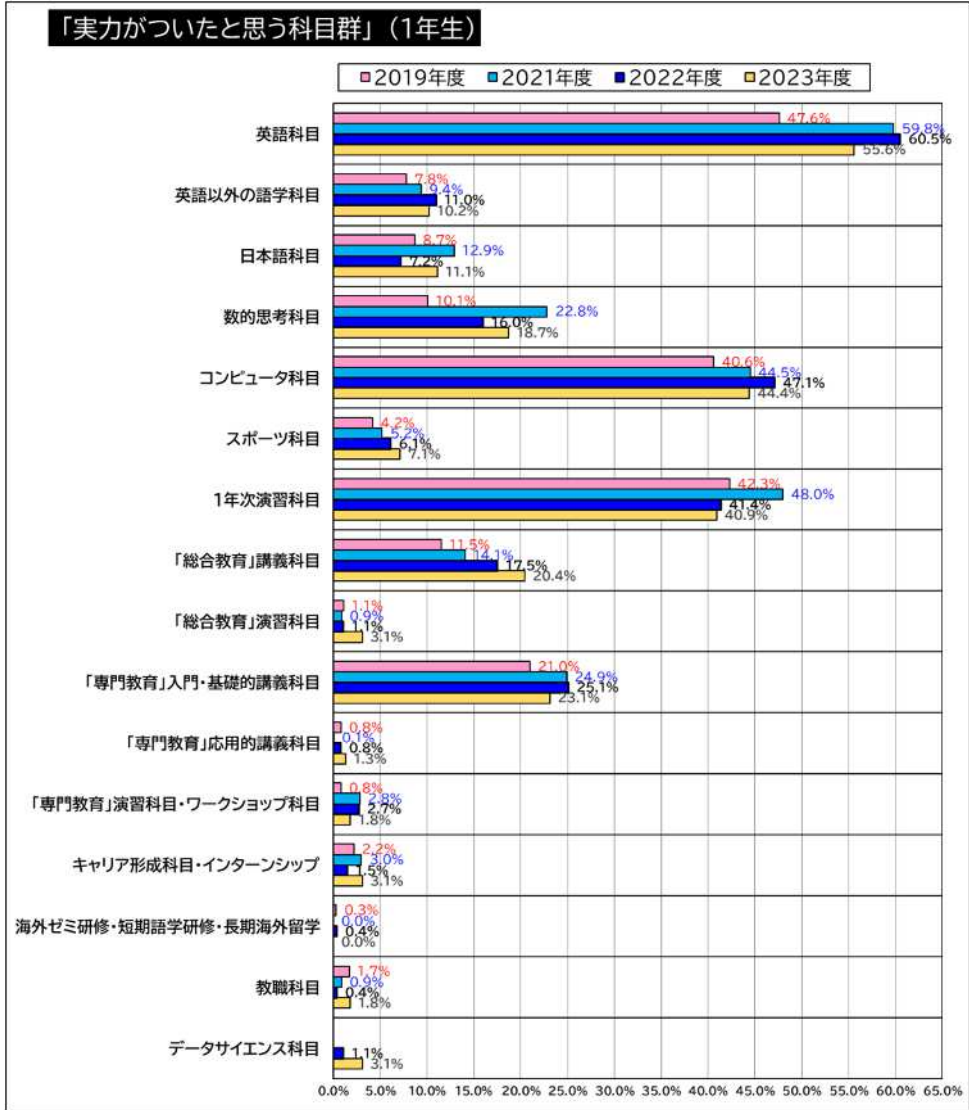
*最近の1週間:2023.7.10~2023.7.16





3)「本学の授業で受講し、その結果、実力がついたと思う科目群(2019・2021～2023年度の比較)」

- ①1年生は、「英語科目」「コンピュータ科目」「1年次ゼミ」が高い自信となっています。一方、「総合教育講義科目」、「専門教育入門・基礎的講義科目」ではあまり自信がついていません。
- ②2年生は「専門教育入門・基礎的講義科目」・「専門教育演習科目・ワークショップ」で力がついたと自覚しています。昨年度との比較では、「専門教育入門・基礎的講義科目」が特に伸びています。
- ③3年生は例年、専門科目に関する科目群について自信がついたと回答する割合が高い傾向にあります。しかし、今年度の「専門教育演習科目・ワークショップ」は大きく減少しました。おそらく3年生の回答率(3.7%)による影響だと考えられます。
- ④4年生は「専門教育入門・基礎的講義科目」「専門教育演習科目・ワークショップ」に自信を持っており、「専門教育演習科目・ワークショップ科目」で自信がついたと自覚した割合がさらに伸びる結果となりました。



4)学修成果・到達度自己評価

IR 推進委員会では「全学のディプロマ・ポリシーの理解度とその4項目の修得度」に対する「学生自身の到達度評価」を継続して調査してきました。みなさん一人ひとりが自らの学びの成果(学修成果)として身につけた資質や能力を自己評価し、学修目標の達成状況を可視化されたエビデンスとともに自ら説明できることが求められています。

全学 DP4 項目は、「よく身についた＝3点」、「ある程度身についた＝2点」、「あまり身につけていない＝1点」、「ほとんど身につけていない＝0点」として、全学 DP 理解度は、「よく理解している＝3点」、「ある程度理解している＝2点」、「知ってはいるがほとんど理解して

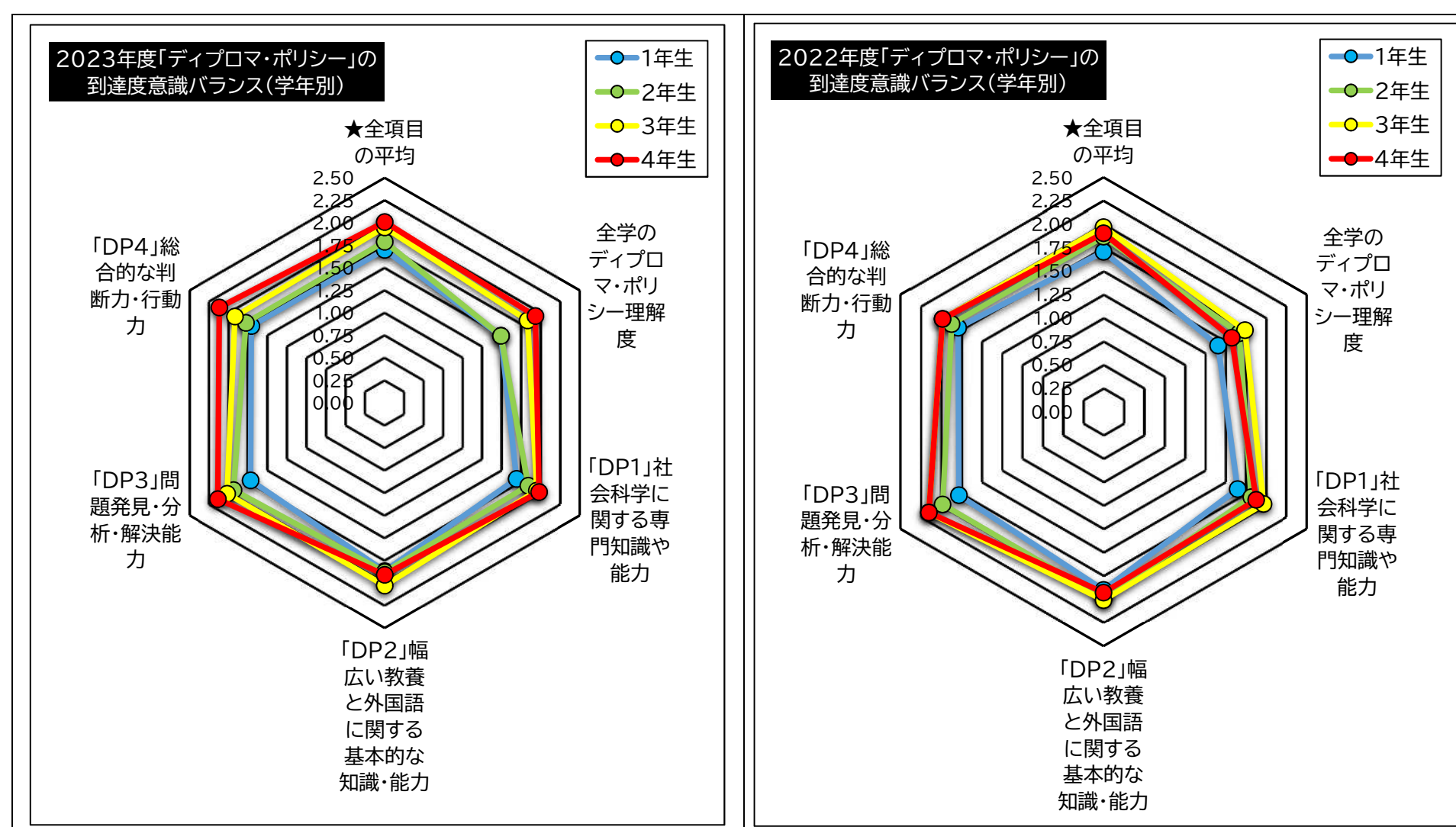
いない=1点」、「見たことはない・知らない=0点」として数値化し、その平均値を求めました。

①2023年度は横ばいの評価結果となりました。

②全学 DP1～DP4は 2021 年度に設問をわかりやすく表現し直したところ、すべての項目で自己評価が高まりました。「全学 DP の理解度」の全体平均値は上がらないものの、学年別に見ると上級生になるほどポイントが高くなる傾向にあり、学年進行とともに理解が深まっています。

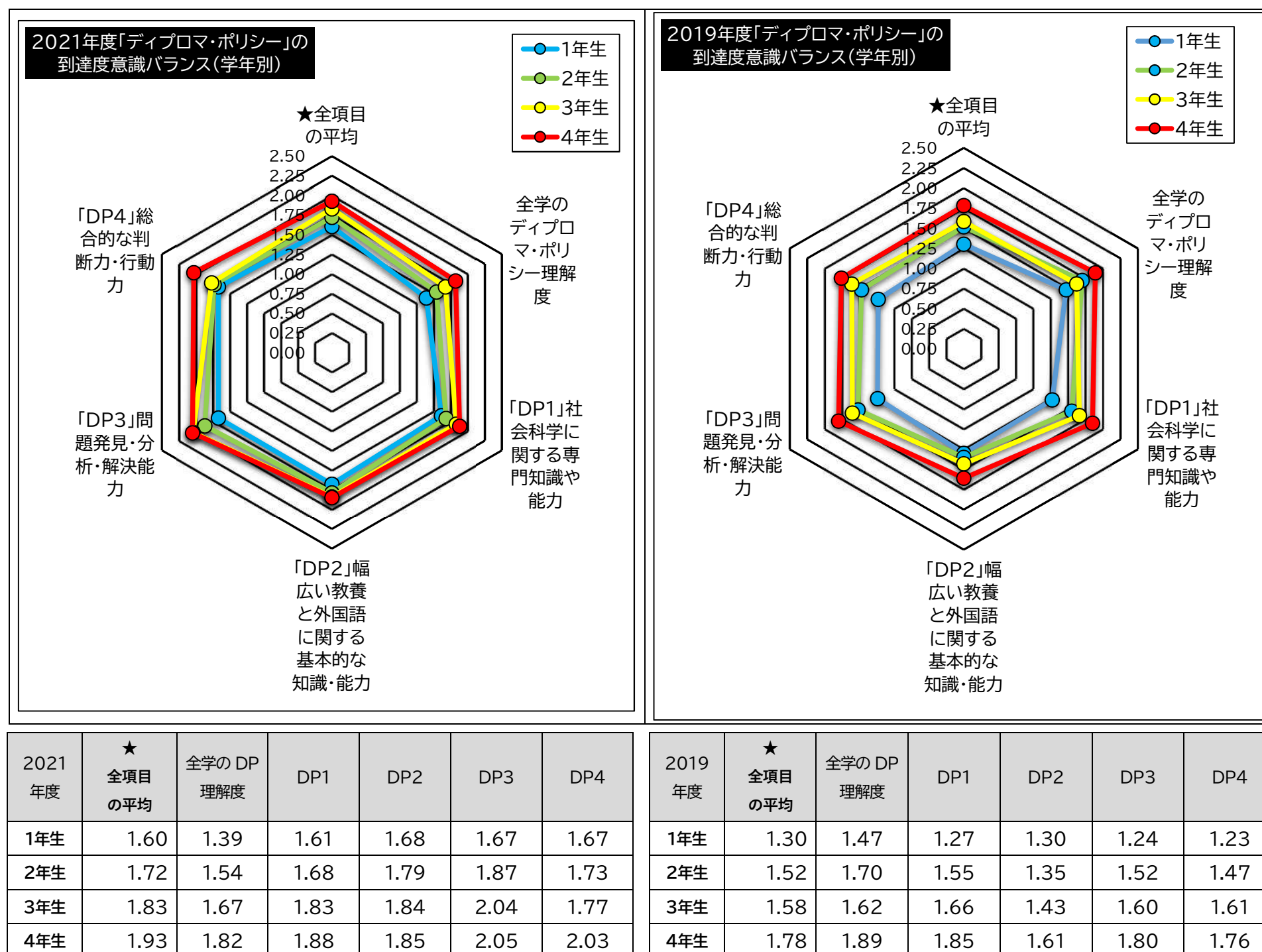
	身についたと思う資質・能力	2019 年度 全体平均値	2021 年度 全体平均値	2022年度 全体平均値	2023 年度 全体平均値	前年度比
全学 DP	「全学 DP」全体の理解度	1.58	1.54	1.56	1.59	+0.03
	DP1 社会科学に関する専門知識・能力	1.45	1.70	1.78	1.79	+0.01
	DP2 幅広い教養と外国語に関する基本的な知識・能力	1.36	1.76	1.95	1.89	-0.06
	DP3 現代社会における諸問題あるいはさまざまな学術研究分野における諸問題を発見・分析・解決する実践的な知識・能力（実践的知力）	1.43	1.84	1.93	1.85	-0.08
	DP4 上記の知識・能力に裏付けられた総合的な判断力と行動力（進一層）	1.39	1.75	1.86	1.79	-0.07
5 項目の平均値		1.44	1.72	1.82	1.78	-0.04

*年度ごとの全項目平均値を上回る項目は、赤の網掛け、下回る項目は青の網掛け



2023 年度	★ 全項目 の平均	全学の DP 理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.70	1.49	1.69	1.87	1.72	1.71
2年生	1.79	1.49	1.84	1.88	1.94	1.78
3年生	1.95	1.83	1.95	2.03	2.02	1.92
4年生	2.01	1.93	1.98	1.91	2.14	2.12

2022 年度	★ 全項目 の平均	全学の DP 理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.71	1.41	1.65	1.90	1.78	1.79
2年生	1.87	1.67	1.82	1.99	1.98	1.87
3年生	1.97	1.74	1.97	2.01	2.15	1.98
4年生	1.90	1.58	1.88	1.93	2.15	1.98



以上